

やまぶき通信

ヴィラ山科 〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町 115-1

社会福祉法人 青谷福祉会

第99号

笑顔の花咲く 春らんまん

岩屋寺

桜の花咲く季節がやってきました。暖かい日差しのなか、利用者さんと沢山の場所へお花見に行きました。行く先には桜と利用者さんの笑顔が満開でした！

塔の島



3月31日、山科大丸でお花見弁当を購入し、施設の桜を見ながらのランチタイム。利用者さんは自分で選ばれた好きな食べ物ばかりに囲まれ「美味しいです。もっと買ってあげばよかったなあ」と満面の笑み。
昼からは岩屋寺に出かけてお花見。「いい所ですねえ」と満足気にされていました。

長等公園



4月1、2、7日は宇治橋近くにある塔の島に出かけました。
到着までは宇治川沿いの朱色が美しい橋や桜並木の眺め車内から眺め「わあ、ええ所やわあ」と感嘆の声が漏れていました。
現地では満開の枝垂れ桜がお出迎え。「見事なもんだ」と眺めておられました。

山科疎水



4月3、9日は山科疎水へお出かけ。ここは毎年桜と菜の花が咲き並ぶ人気のお花見スポットです。
「きれいやなあ」とうっとりされる方や、「菜種は昔漬物にしてました。これだけの菜種はすごいですね」と懐かしんでおられる方もおられました。

4月5、10日は大津にある長等公園にて出かけました。
公園はちょうど桜が満開。5日は天候も良く、絶好のお花見日和でした。
ビールを飲んで「桜がおつまみや」とにこやかに話される方もあれば、あたりの桜を見渡して「わあー、こりゃあこりゃあ」と感動されている方もおられました。
10日は天候には恵まれませんでした。利用者さんからは「雨でも楽しい、上等や」という声も聞くことができ、お花見を楽しんでおられる様子でした。

岩屋神社



4月4、7日は近くの岩屋神社にお花見に行きました。
毎年見事に咲く桜に利用者さんは「遠くに行かなくてもここはほんまにきれいや」と笑顔で話されていました。
近場でのお花見も楽しまれました。

ヴィラ山科



4月4、8日は施設の庭園に出たお花見。枝垂れ桜がきれいに咲いており、利用者さんは「ほんまやよう咲いてる」とうっとり。
夜はライトアップした桜を利用者さんと眺め、「これはいいわ、こんなきれいなもんあるんやね」と昼とは趣の変わった桜を楽しまれました。

膳所城址公園



4月4日は膳所城址公園にお出かけ。花見の前には公園近くの浜大津アーカスにてランチタイム。利用者さん同士わきあいあいと会話も弾み食事がすすみます。
昼食後の花見では「わあきれいや」と感心され眺めておられる方もあれば、「一句詠みましょうか」と言われる方もおられ琵琶湖と桜の景色を堪能されている様子でした。

20年度事業計画について

3月24日に開催された当法人の理事会で、ヴィラ山科の平成年度の予算及び事業計画が承認されました。下記に事業計画の一部をご紹介します。

□基本指針

利用者一人ひとりが生きがいを持ち充実した生活を送れるよう掲げた理念「ヴィラ山科が第二の我が家であるために～その人らしさを求め生きる日々を大切にします～」のもと、個別ケアの推進に向けて全職員が取り組むものとする。

また、QMSの有効的な運用を確実にし、サービスの質の継続的改善を図るものとする。そのためには、職員一人ひとりの資質の向上と職員間の連携に加え、専門性の向上を希求する意欲を持ち続けることが重要であり、計画的な職員の教育訓練を実施するのに加え、さまざまな機会を通じて外部研修への参加や先進施設への視察等を実施するものである。

さらに、EMSに準拠した取り組みを実施することで、環境に優しい福祉活動を展開する事を目指すものである。

重点項目

(1)「第二の我が家」になるために

- ・ 利用者の居室やユニット内、食堂の居心地の良さを追求と改善に取り組むこと
- ・ お楽しみプロジェクト（日常のちょっとしたお楽しみ、特別なお楽しみ）の継続・充実に取り組むこと
- ・ ご意見はがきやご意見箱、生活アンケートの活用や、家族会や個別面談を通じて幅広くニーズを汲み上げサービスの継続的改善を行うこと
- ・ 計画的に職員研修を実施し、専門性を高めて資質向上を図ること
- ・ 機関紙を定期的に発行し、利用者並びにご家族とのコミュニケーション手段として活用すること

(2)「その人らしさ」の尊重

- ・ 施設サービス計画の評価及び見直し
- ・ 個別リハビリテーション計画の評価及び見直し
- ・ 栄養ケア計画の評価及び見直し
- ・ 定期的にまたは状態に変化のあるときは随時にサービス担当者会議を開催し、職種連携により多方面から「その人らしい生活」を追究するものとする
- ・ 「寄り添うケア」を通じて、利用者職員との「なじみの関係」作りを目指すこと
- ・ 家族との信頼関係の構築を図り、家族と共に利用者の生活を支えること

(3) QMSの有効的な運用によるサービスの質の確保

- ・ QMS運用により継続的改善を行い、以ってサービスの質の向上に繋げること。
- ・ 定期的な品質及びコスト、納期の評価を行い、安定した供給資源を確保すること。
- ・ 文書類及び帳類・台帳類の継続的な見直し。

(4) 利用者の安心安全の確保

- ・ 感染症予防対策の推進、褥瘡予防対策の推進、あらゆる身体拘束並びに虐待の廃止、事故発生予防などに向けた取り組みの強化。
- ・ 看護師の24時間連絡体制を整備し、健康上の管理等を行う体制を確保すること。
- ・ 看取りに関する指針に基づき、施設におけるターミナルの充実を図ること。また看取りに関する職員研修を実施すること。
- ・ 認知症利用者への有効な対応や取り組み（回想法や学習療法、マンツーマン対応など）についての知識を深め、ケアに生かすこと。

(5) 利用者の食生活の充実に関すること

- ・ 他職種協働により栄養ケアマネジメントを推進すること
- ・ 食事調査を反映した献立を作成し、食事提供すること
- ・ 利用者1人ひとりがゆったりとした食事ができる環境づくり

えいよう通信



おついたち



おしながき
ご豆ご飯
ご刺身
(まぐろ、たい)
ご桜蓋し
(あまだい入り)
ごこみ天ぷら
ご木の芽和え
(筍・大根)
ご清汁
ご梅酒菜天
(ぶどう入り)
平成20年
四月一日

よし笛コンサート



施設入居者、館さんのご家族のご好意により、よし笛サークルの演奏会が3月15日に開催されました。
琵琶湖のヨシを使った笛やほうきを改造して作った尺八が登場し、手作りとは思えない美しい音色に利用者さんはうっとりされ、懐かしい曲には手拍子や合唱が自然とおこりました。
「ええ音色やったわ」と利用者さんからは大変好評でした。

重要事項説明書の変更について

平成20年度4月1日より重要事項説明書の一部が変更になります。改訂部分の内容とともに「指定介護老人福祉施設重要事項説明書」改訂についての説明同意書を同封致しますので、同封の返信用封筒にて投函をお願い致します。

個人情報保護法に基づき、本紙に掲載しております写真等につきましては、利用者さん等に掲載についての承諾を得ております。

◇利用者預り金のご報告について

「利用者預り金管理規定」第9条（預り金の報告）により、平成20年1月～3月までの預り金の状況を別紙のとおりご報告します。
※ご不明な点は、相談員までご連絡下さい。

◇3月分利用料の支払いについて

預り金管理している方の引落日 4月21日
自動振替（手続きをした方）の引落日 4月28日
の予定です。預金残高の確認をお願い致します。

特別養護老人ホーム ヴィラ山科

介護老人福祉施設（80床）・短期入所生活介護（10床）・通所介護（32人）・訪問介護・居宅介護支援事業・配食サービス

TEL 075 (572) 6677 FAX 075 (572) 6866

武田病院ホームページアドレス：<http://www.takedahp.or.jp>（本紙もご覧頂けます）